



川内たかゆき後援会便り

元気

みなぎる

通信

2024
新年号

川内たかゆき後援会

〒889-1802 宮崎県都城市山之口町花木 2253-6

TEL・FAX：0986（77）5298

《議員活動 10 年の節目》

新春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、川内たかゆき並びに後援会に対し、多くの御指導、御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナの5類への移行後、行事などが一斉に活発化し驚くべきスピードで行事目白押しの年になったと感じています。私自身、7月に初めてコロナに感染しましたが、後遺症もなく下半期はこれまでに経験したことがないほど行事や公務で走り回った一年となりました。都城市の現況としては、ふるさと納税が4度目の日本一となったものの、返礼品事業者による産地偽装や不適正表示が発覚し、本市の信頼が一瞬のうちに失われるという由々しき事態となりました。

また、山之口では唯一のスーパーが閉店し、市民生活が激変するなど想定外のできごともあり、一日も早く改善できるよう奔走しているところです。一方で、2024年は県立陸上競技場完成や志布志道路全線開通など明るいニュースもあります。

私事としては、2年に渡る副議長の役職が2月9日の臨時議会を持って終わります。最後までしっかりと取り組み、11年目も元気にぎる都城を目指し走り、動き、伺ってまいります。さらなるご指導ご支援を宜しくお願いします！

都城市議会議員 川内 賢幸

都 城 2023

◎山之口総合支所がリニューアル、総合センターへ

山之口総合支所が、地区公民館と勤労福祉センターを含め複合化し山之口総合センターとなりました。

◎4月に道の駅都城 NIQLL がプレオープン

道の駅都城がリニューアル。新たに「道の駅都城 NIQLL」として生まれ変わりました。2023年は、100万人を超える来場者となり、新たな都城のスポットになっています。

◎盆地祭り、おかげ祭り、焼肉と花火など大型催事も通常開催

都城の名物行事である、夏場の六月灯。2023年は多くの地区で開催。おかげ祭りや盆地祭り、焼肉カーニバルなどが通常開催となり多くの来場者で賑わいました。その他の祭りも通常開催となった祭りが多く、コロナ5類移行後、みやこんじょの活気が戻ってまいりました。

◎ふるさと納税「195億9300万円」4度目の日本一！

令和4年度のふるさと納税額が過去最高の195億9300万円(1,004,337件)で4度目の全国1位となりました。ふるさと納税で頂いた寄付金は、全額市のために活用されています。当初予算では396事業に充当されています。

◎ふるさと納税返礼事業者による不適正表示発覚、市議会より対応申し入れ

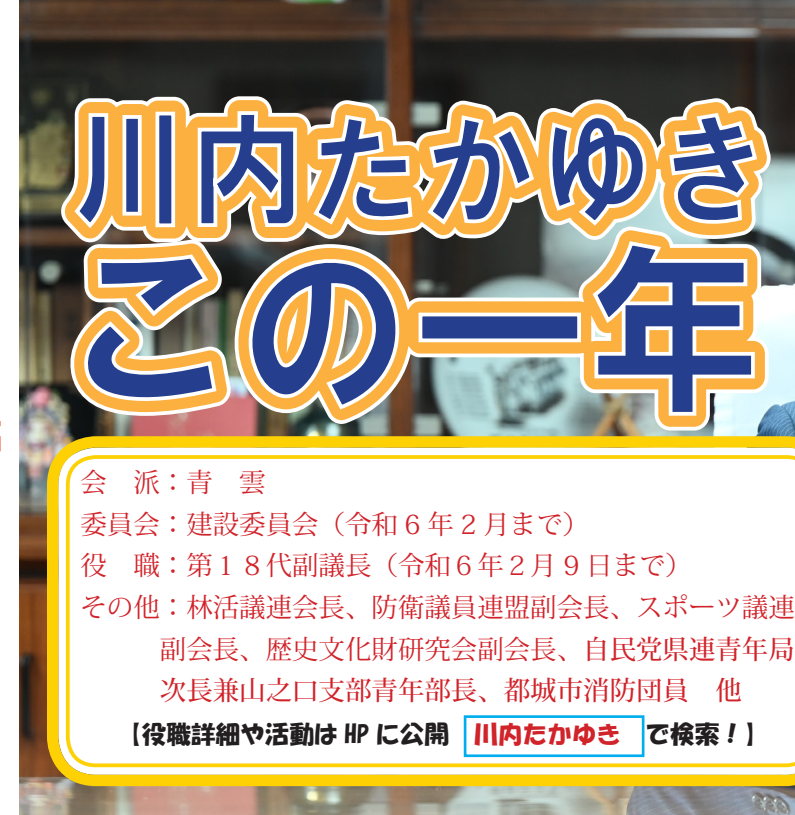
2023年7月、九州農政局より本市のふるさと納税返礼事業者の不適正表示が発覚。特定牛肉について事実と異なる個体識別番号を表示。このときはふるさと納税返礼品における不適正表示の確認はありませんでしたが、11月に入り新たな事業者による不適正表示が判明。144トン（4万4000件、委託料1億8千万円）にのぼる鶏肉の産地偽装が行われました。この件を受け、市議会として市長ヘルール厳格化や再発防止を申し入れしました。

◎志布志道路が令和6年度中に全線開通へ

都城と鹿児島県志布志港を結ぶ高規格道路都城志布志道路の全線開通について、令和6年度に全線開通することが発表されました。これまで都城区間の開通は令和6年度と発表されていましたが、昨年の鹿児島県議会12月議会における塩田知事答弁より鹿児島区間も開通することが発表。令和6年度に総延長44kmが全線開通します。

◎県立陸上競技場の進捗着々

2027年開催の国スポ・障スポ宮崎県大会のメイン会場となる新県立陸上競技場の建設工事が着々と進んでおり、2023年は第1種陸上競技場の大屋根がかかりはじめました。本年12月に完成予定です。



川内たかゆき

この一年

会 派：青 雲

委員会：建設委員会（令和6年2月まで）

役 職：第18代副議長（令和6年2月9日まで）

その他：林活議連会長、防衛議員連盟副会長、スポーツ議連副会長、歴史文化財研究会副会長、自民党県連青年局次長兼山之口支部青年部長、都城市消防団員 他

【役職詳細や活動は HP に公開 [川内たかゆき](#) で検索！】

都城市議会副議長

【早朝立ち立ち】

【行政視察受け入れ対応】

【6月・9月議会 意見書提出】

【子ども宅食・食堂米づくり】

【子牛セリ、乳子市】

【消防団活動 災害救助訓練】

【宮崎県看護連盟ポリナビワークショップ】

【建設委員会 現場調査】

【都城島津邸特別展】

【モンゴル友好協会活動】

【大淀川サミット活動 外来植物駆除】

【まちづくり協議会活動 小学生企業見学ツアー】

【四半の都北支部活動】

【都城地区ハンドボール協会活動】

【全国若手議員の会 全国総会 in 宮崎】

【糖尿病啓発イベント主催：まちなか広場】

【青井岳の森ふれあい交流会：遠足協力】

【自治公民館活動】

【市民要望活動：現地調査】

【みやざき骨髓バンク 20 周年実行委員長】

【島津発祥祭り参加】

【山之口 弥五郎どん祭り】

【焼肉と花火大会 実行委員】

【花木あげ馬 実行委員】

【公務 国会議員要望活動】

使って下さい！川内たかゆき！！ 皆様の困りごと、疑問に思っていること、要望等お気軽にお問い合わせください！

080-5602-4463（本人直通）

ふるさと納税産地偽装に対して、議会として市長に再発防止などルール厳格化を申し入れ

ふるさと納税返礼品の産地偽装問題を受け、12月22日に議会を代表して議長とともに、市長へ以下の申し入れを行いました。

- ①再発防止に向けて、今回の検証をしっかりと行い、組織体制の強化を図ると共に、返礼事業者に対しての指導を徹底すること。
- ②市独自の立入り調査の実施と併せ、その結果についても議会と共有すること。
- ③新たなルールについての公表とその徹底を行うこと。
- ④「(株)ヒム力食品」による返還金をはじめ、寄附者への返還等の処理の状況については、その詳細を市議会と共有すること。
- ⑤今回の事案全般について、市民の理解が得られるよう積極的な情報公開を行うこと。



《定例会において議員提出議案を提出》

定例議会は3月、6月、9月、12月に開催されています。申合せにより**副議長は[一般質問できない]**ため、登壇はありませんが、国への意見書を提出者として2つ、提案者として1つ提出させていただきました。

森林環境譲与税の譲与基準見直しを求める意見書を提出

令和5年6月議会において、国に対して森林環境譲与税の譲与基準お見直しを求める意見書を提出しました。背景には、地方公共団体は森林経営管理制度等に基づき、管理が行き届いていない森林の整備のため、森林所有者への意向調査等に取り組んでいますが、所有者不明や境界未確定森林の存在、担い手の不足等により、想定以上のコストがかかっている実情があります。林活地方議員連盟全国連絡会議が主導し、全国の林活議連に森林環境譲与税の譲与基準見直しの意見書を提出する働きかけがあったものです。

令和元年度の宮崎県内再造林率が75%であるのに対し、**令和2年度の大淀川流域の再造林率は55%にとどまっています。市の面積65300ヘクタール中55%にあたるおよそ36000ヘクタールの林野面積を持つ都城市**では、今の譲与基準のままでは森林整備の費用に不足が見込まれ、さらなる財源が必要となっていることから、国に意見書を提出、全会一致で可決されました。

畜産の経営安定及び飼料自給率の向上に関する意見書

令和5年9月議会において、国に対して畜産の経営安定及び飼料自給率の向上に関する意見書を提出しました。背景には、ロシアによるウクライナ侵略に伴う穀物相場の高騰に加え、昨今の円安の影響で配合飼料価格は未曾有の高値水準が続いており、畜産業全体が非常に厳しい経営に直面している事があげられます。本市は、農業産出額3年連続日本一となっており、その最たる分野は畜産業です。

- 次の意見を提出し、全会一致で可決されました。
1. 飼料価格高騰により畜産経営が圧迫されている状況を踏まえ、引き続き、影響緩和に向けた万全の支援を行うこと。
 2. 再生産価格を踏まえた適正な畜産物価格への転嫁が図られるよう、国民や流通業界等への理解醸成を促すとともに、その実現に向けた仕組みづくりを早急に進めること。
 3. 海外に依存しない持続可能な畜産の実現を目指し、耕畜連携を一層促進するなど、水田を含めた地域における自給飼料の増産に向けた支援を強化すること。
 4. 水田の直接支払交付金など、自給飼料生産への転換に向けた継続した予算確保を行うこと。
 5. 自給飼料生産コストの低減に向け、担い手への農地集積や農地の大区画化に係る施策の充実強化を図ること。

持続可能な水田の確立と食料の安全保障に関する意見書

1. 食料や家畜飼料の国内生産を拡大するため、水田利用の汎用化、農地の集積・集約化や大区画化、農作業の分業化や農作業受託の仕組みづくりなどの効率的な生産活動に資する施策を充実・強化すること。
2. 水田利用の直接支払交付金の予算を十分に確保するとともに、効率的な農業生産や農地の集積・集約・保全など、水田農業へ大きく貢献する集落営農組織に対して、経営安定に資する施策を充実・強化すること。
3. 再生産価格を踏まえた適正な農産物価格への転嫁が図られるよう、国民や流通業界等へ理解情勢を促すとともに、その実現に向けた仕組みづくりを早急に進めること。

以上を提案し、同僚議員が提出。全会一致で可決されました。

これまでの取り組みと成果

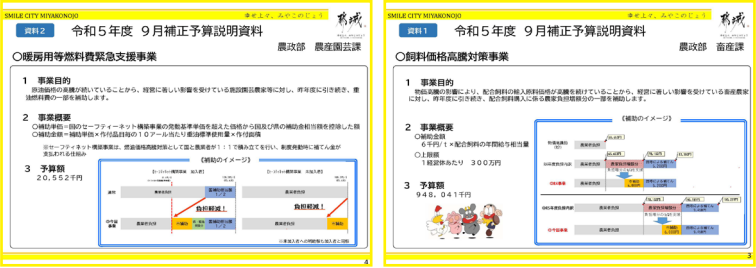
これまでの取組について主だったものをご報告いたします。継続して成果が上がったもの、新たな取組成果が上がったもの、継続して取り組んでいるものになります。

◎困窮する農家支援策の実現（輸入飼料、燃料費高騰対策）

一昨年8月に会派で緊急提言を行い実現した、農家への物価高騰対策事業が、令和5年9月議会において再事業化されました。事業内容は、昨年度と同様です。これらの事業は、新年度で事業化されるものと思っていたのですが、3月、6月と提案されることがなく、毎月の競り市などで農家の皆さんから多くの声が届いていました。担当課へは、農家の皆さんの声をお伝えし苦しい実情を伝えておりました。

また、一刻も早い再事業化を促すため、9月議会において同僚議員へ再事業化の質問を託したところでした。

引き続き、農業の発展と安定化に取り組んでまいります。



◎危険な公園遊具の更新事業が大幅前倒しへ！

一昨年、市民相談を発端に会派で取組調査を開始した、使用禁止遊具の実態と早期対応ですが、令和5年度予算で対応費用として2000万円増額計上されておりました。あわせて、令和5年度からは、所属する建設委員会の所管事務調査として取り組むこともきまり、5月には複数箇所の公園の禁止遊具を現場調査するなどして、早急なる対応を市に求めています。この取り組みにより、一斉調査が行われたことから、現状で使用できない遊具が各所で発生し、子どもたちや地域からも対応を求める声が出ておりました。当初の予定では、市で管理する公園の遊具中、問題が確認された204基すべての対応が完了するのは令和6年度とされていました。しかし、令和5年9月議会において、**補正予算として新たに2.1億円が計上**されたことにより、問題のある遊具の修繕、更新、撤去については、大幅前倒しの**令和5年度中にすべて完了**する見込みとなりました。



▲会派での調査の様子 ▲建設委員会での調査の様子

民間スーパー閉店による激変緩和に取り組んでいます

令和5年3月31日をもって、山之口で長年親しまれてきた民間スーパーが閉店となりました。2月中旬に情報が入り、すぐさま自治公民館連絡協議会会長、商工会長、市長等へ情報を共有し、4月からの買い物困難者支援策を念頭に行動を始めました。3月3日山之口総合支所において、3団体並びに都城市商工観光部長、地域振興部長、山之口総合支所担当課へ話し合いの段取りを行い、地元選出の3議員同席のもとで、心配される懸念事項などの情報共有を行いました。3月9日には市長、副市長を始めとする担当部長らへ直接陳情の段取りを行い、私も同席の上、買い物困難者支援並びに山之口の活性化に向けた陳情を行いました。(写真：連協長より市長へ陳情提出)

現在においても、新規出店の動きはありませんが、継続的に市側と協議をしており、解決に向けて取り組んでおります。あわせて、住民の皆様に向けた情報提供も行い、買い物支援カーの利便性向上などにも取り組んでいます。

さらに、民間団体との話し合いも進めており、スーパーの新規出店の可能性を模索し続けております。早期に結果を出せるよう頑張っております。

